

中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱**（設置）**

第1条 中播磨（市川流域圏）地域における総合治水の推進にあたり、総合治水条例（平成24年兵庫県条例第20号）（以下「条例」という。）第6条第1項に基づき知事が策定する中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画の案に対して意見を聴くとともに、条例に掲げる諸施策に関して協議するため、中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画案について協議すること。
- (2) 中播磨（市川流域圏）地域における総合治水の推進に関すること。

（協議会委員）

第3条 協議会に、別表第1に掲げる委員を置く。

- 2 委員は、再任されることができる。

（会長）

第4条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員のうちから、あらかじめ知事が指名する学識経験者をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総括し、議事進行にあたる。
- 4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、委員のうちから、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

- 2 委員は、事故その他やむを得ない理由により会議の職務に従事できない場合は、あらかじめ会長の承認を得て、代理人を出席させることができる。
- 3 会長が必要と認めた場合において、会議の場に委員以外の者の出席を求めることができる。

（謝金）

第6条 委員（国、県及び市町の職員である者を除く。以下次条において同じ。）が協議会に出席したときは、別に定めるところにより、謝金を支給する。

（旅費）

第7条 委員が協議会に出席したときは、旅費を支給する。

- 2 第1項の旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により、行政職6級の職務にある者に対して支給する額に相当する額とする。

(ワーキング)

第8条 協議会に、協議会で協議すべき原案等を検討するため、以下のワーキングを設置する。

- ・上流域ワーキング
- ・下流域ワーキング

- 2 ワーキングに、別表第2に掲げる者（以下「ワーキング構成員」という。）を置く。
- 3 ワーキング構成員は、再任されることができる。
- 4 ワーキング構成員は、委員を兼ねることができる。
- 5 ワーキングに座長を置く。
- 6 座長は、中播磨県民センター姫路土木事務所企画調整担当所長補佐をもって充てる。
- 7 座長及びワーキングの会議については、第4条第3項及び第5条第1項、第2項の規定を準用する。この場合において、「協議会」とあるのは「ワーキング」、「委員」とあるのは「ワーキング構成員」、「会長」とあるのは「座長」と読み替えるものとする。
また、ワーキング構成員は、必要に応じて議事に関わるものとして、あらかじめ座長の承認を得て、会議の場にワーキング構成員以外の者を出席させることができる。
- 8 ワーキング構成員に対しては、第6条及び前条の規定を準用し、謝金及び旅費を支給する。

(事務局)

第9条 協議会及びワーキングの庶務を行うため、事務局を置く。

- 2 事務局は、兵庫県中播磨県民センター姫路土木事務所をもって充てる。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会及びワーキングの運営に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成25年7月17日から施行する。

(この要綱の失効)

- 2 この要綱は、平成31年3月31日限り、その効力を失う。